

都市計画マスタープラン策定に係る地区懇談会(館野地区)

— 第1回 懇談会要旨 —

1. 懇談会開催日時等

日時：平成20年1月15日(火) 19:00～21:00

場所：館野公民館

市職：都市計画課 3名

2. 懇談会次第

1) 開会

2) 都市計画課課長挨拶

3) 懇談テーマ

①都市計画マスタープランとは

②館山市全体及び館野地区の都市計画の現状

③まちづくりに関するアンケート結果の概要報告

④質疑、意見交換

4) その他

5) 閉会

3. 参加者

9名

4. 館野地区から出された主な意見

○都市計画マスタープランへの要望

・実現化が図られるものを位置づけて欲しい

○地区の整備に関する要望

・国道128号の渋滞対策、及び安全・安心な歩行空間の確保

・滝川の災害対策、及び景観形成

5. 懇談会要旨

【資料説明】

①都市計画マスタープランとは

- ・都市計画マスタープランの役割や法的位置づけ等について説明。

②館山市全体及び館野地区の都市計画の現状

- ・市全域及び館野地区についての人口推移や土地利用現況等を説明。
- ・以下の事項等をテーマとして都市計画マスタープランを策定すると報告。
 - 都市計画道路の新設・廃止を含めた見直し
 - 用途地域の拡大や変更等の見直し
 - 景観形成
 - 都市公園の新設等を含めた見直し
 - 中心市街地の空洞化

③まちづくりに関するアンケート結果の概要報告

- ・アンケートの結果より、以下の事項がまちづくりの方向性に挙げられると報告。
 - 誰もが住みやすい、安全・安心なまち
 - 自然や文化を活かした観光都市

【質疑、意見交換】

以下、参加者から出た意見を“○”、事務局からの回答を“⇒”とする。

○館野・九重地区には現行の都市計画決定施設がなく寂しく思う。例えば山の中に公園を作る等といったことはできないのか。今日は、懇談会という中で地区の中から何かないかということでもいいのか。事務連絡の中で、まちの方向性について意見を聞きたいというお知らせがあったら良かったと思う。

⇒市全域及び館野地区の中で、どんなものが欲しいだとか、そういう意見を伺いたい。地理的に北条に隣接し、市内で唯一人口が増えている地区なので、用途地域を館野地区の方へ拡大させるというのも一つの考えだと思っている。

⇒本日の説明は、現状。20年後の将来を見据えてどうしていきたいのかがこれからの作業になる。将来、この地区がどうなって欲しいという意見を伺うことができれば、今後の作業の中で参考にさせていきたいと思っている。

○未だ実現化されていない事業に対するの反省のようなものはないのか。

⇒用地買収等の遅れから事業をうまく進められなかった部分はあり、昭和40年以降見直しが図られなかったことは反省点だと思っている。近年、館山道の開通等により、館山市のおかれている状況が変化している今、都市計画マスタープランの策定を行い、見直しを図っていくものと考えている。

○アンケートをとった理由は、そういう反省点からなのか。

⇒都市計画マスタープラン策定にあたり、市民の皆様が都市計画に対してどのように考えているのか、どのようなところに目を向けられているのかを把握するためにアンケートを実施した。

○アンケート回収率が 6.7%とあるが、こんなものなのか。また、このマスタープランを策定するに当たっては、住民アンケートの結果を基本としていくというスタンスで良いのか。

⇒市としては、もう少しいただけるのかと置いていたところ。マスタープランの策定作業においては、これを利用して進めていくことになる。

⇒全ての意見に対して盛り込むことはできないかもしれないが、頂いた意見を踏まえて策定していく。

○国道 128 号は、朝夕渋滞がひどいし、広瀬はバイパスとなっている。また今後、緑資源が作っている基幹農道がつながるようになると、今以上に朝・夕のピーク時に渋滞が起きてくるのではないかと思う。シーズン渋滞も起きるのではないか。

⇒基幹農道に関しては、平成 21 年度末に完成する予定と聞いている。千倉方面からの通勤等に使われるようになっていくと思っている。

○安房医師会病院から北部へ通る道路はいつ開通するのか。開通すれば国道 128 号が多少すくのでは。岩井方面に行く車が利用すると思う。

⇒平成 22 年供用開始予定。

○現時点まで、実施できたものはどれだけあるのか。いつまでもできないものを位置づけていくのも現実的ではないので、今企画しているものの実現化の順位を上げるための第一歩として、短いスパンでできるものを都市計画マスタープランの中で位置づけていければ良いと思っている。都市計画税の問題もある。実現性が上がれば、農村部でも公平になるのでは。

⇒都市計画道路の完成しているものは、渚線と川名真倉線の 2 本のみである。

⇒例えば、都市計画道路事業は着手してから最低でも 10 年はかかる。都市計画マスタープランでは、順次整備していくものや、いつになるかわからないが必要なものも含めて計画していくものである。

⇒20 年後を見据えて、必要な道路をよく見定めていきたいと思っている。20 年後を見据えても整備に着手できないようなものを残しておく、計 50 年も規制をかけることになる。こうした計画については廃止も考えている。

○滝川の河川改良について、箱橋まで第 2 期工事を行っていく予定になっているが、いつまでに完了させるのか。5 年計画と聞いているが、用地買収もできていない状態とのことだが。

⇒県が整備をしているため、確認後回答する。

○河川は計画に入らないのか。また河川の堤防整備と併せた景観整備等はできないのか。
⇒河川周辺の公園整備等で、周辺の景観整備につなげていくことは可能。

○河川の両脇に緊急避難場所を配置して、2 次的な機能として景観というようなものが良いと思っている。全国的にはどうなのか。

⇒都市計画マスタープランの中で位置づけるとすると、緊急時には避難場所として利用し、平時においては憩いの場として整備を促進していくといった位置づけまでしかできない。これが将来の目標となり、個別・具体の事業になったときには、この目標を受けて実施していくことになる。出された意見の中の、理念や思想的な部分に関しては都市計画マスタープランの中にどんどん書いていけば良いのだが、何メートルで整備する等といったところまで書けないのが都市計画マスタープランの性格である。

○館野の将来に関して、国道 128 号のようなメイン通りの将来展望をどのように考えているのか。

⇒房総半島を東西に結ぶ重要な路線であると認識している。また、観光シーズンになると極端に交通能力が落ちるということも認識している。もし、地域高規格道路があれば、通過交通をさばくことができると思うので、今議論がされているところである。また、和田・丸山・館山線をうまく活用して交通分散を検討する議論もされている。歩道については、特に上野原の近辺に関して、用地買収ができたところから少しずつ実施していると県から聞いている。しかし、なかなか進みが悪いというように考えている。国道 128 号を何とかしないといけない。他の道路を作ろうとすると時間がかかる。現道改良を実施しながら県へ働きかけをする。

○用地買収のように金が問題になってきているのであれば、宅地の中を通らずに、農地をつぶして道路を作るほうが良いのではないか。

○国道 128 号は通学路にもなっており、国道 128 号の路側帯の状況が非常に悪い。もっとバリアフリー化していくというのを都市マスタープランで約束できないのか。また、大地震が来るという想定があるなか、水と農地・緑は大事であるので、汐入川～平群里川～滝川が館野地区まで来ている状況です。この川の両側帯を緑で景観整備できないか。それを、市、県、国にやってもらうのではなく、地域を巻き込む形で整備していけないか。また、河川敷を利用した安全・安心な面から利用できるものはできないのか。

○滝川、国道 128 号の渋滞、国道 128 号近辺の道路の渋滞等の解決策を盛り込んでいただければと思う。